

健康保険組合 担当者の方へ

～検診マンモグラフィ と その判定について～

平成 22 年 11 月

JA 静岡厚生連 遠州病院 健康管理センター

拝啓 晩秋の候、ますますご清祥の事とお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、当センターでは、より診断制度を上げ、受診者の方々にとって安心できる乳がん検診にすべく、マンモグラフィガイドラインの遵守を徹底したいと存じます。

ガイドラインにおける検査方法は下記のとおりですが、40歳代の方の撮影方法が、1方向のみとなっている検診内容を、しばしば目にします。

平成 23 年度からのマンモグラフィ撮影方法について、ガイドラインに沿ったものとしていただけるよう御一考下さいますようお願い申し上げます。

次年度以降も従来どおりに撮影方法が不十分な場合でも、読影、判定はいたしますが、観察範囲での判定であります。検査が不十分なことが原因で疾患を見落としした場合に関しては、当センターでは責任を負いかねますので、ご了承下さい。

また、この文書と行き違いで、既にガイドラインに沿った検査をされている場合は、ご容赦下さい。

予防医学が、より重要視される昨今、当センターを今後ともよろしく願いいたします。

年齢	検査方法	検査の間隔
50 歳以上	マンモグラフィ 1 方向	隔年
40 歳代	マンモグラフィ 2 方向	隔年

関連学会 精度管理指針	
精度管理指針	編集
マンモグラフィによる乳がん検診の手引き ー精度管理マニュアルー	精度管理マニュアル作成に関する委員会
マンモグラフィガイドライン	(社) 日本医学放射線学会／ (社) 日本放射線技術学会 マンモグラフィガイドライン委員会／ 乳房撮影委員会／ 乳房撮影専門小委員会